

DNAラボ June 2024

月に一度の『DNAラボ』。

お馴染みメンバーになってくださっている方から、初参加の方まで、今月も素敵な研究員の方々にお集まりいただきました。



質問回答コーナー

今回も、みなさんからのご質問にお答えしていきました！

Question

<ご質問>

何かを教えてもらう時、どうやって教えてもらいたい？

- ①文字（書面）でほしい
- ②言葉でほしい
- ③一緒に実践しながら、自分でまとめた書面が作りたい

ハプロを超えて、「できれば①②③の全部あった方がいい」という方が多かったです。文字（書面）と言葉のどちらが先がいいかも、バラバラな回答でした。

その中でも、ちょっとしたキーワードが見えてきました。

■ハプロD

- ・まず**全体がわかると安心する**
- ・簡易的でも**全体像**を知りたい

■ハプロM

- ・「**ここは逃してはダメ**」という**ポイント**を知りたい

■ハプロR

- ・ 書面には**ゴール**をしっかりと書いてほしい
- ・ 基本的には**箇条書き**の方が理解しやすい

■ハプロN

- ・ まず見て、その後書面がほしい

今月のテーマ研究



ハプロタイプごとのグループワーク

今月の研究テーマはこちら。ご参加いただいた研究員のみなさまから、とっても面白いご意見が集まりました！

【研究テーマ】 人生でうまくいったと思った瞬間



チーム分け

ハプロDチーム① : ハプロD 4名

ハプロDチーム② : ハプロD 3名

ハプロMチーム : ハプロM 3名

ハプロRチーム : ハプロR 3名

ハプロNチーム : ハプロN 1名

■ チーム①

共通点は、

- ・ 普段はあまり関連性がないように見えることでも、ある瞬間にアイデアにつながり、そこから物事がうまく発展していく。
- ・ アイデアがパッと生まれるのは、「追い込まれた時」。

出た意見は、

- ・ 大学卒業後、日本で就職したくない気持ちから海外就職を目指して奮闘。200通もの履歴書を出し、採用された企業での仕事が、その後いろんな仕事に発展して現在のキャリアにつながっている。
- ・ 子供が小さかった頃、漫画やゲームを一緒に楽しんでいた。勉強をさせなくていいのかと悩むこともあったが、子供が成長した今では、共通の話題として漫画やゲームの話ができ、家族の絆を深めるきっかけになっていた。
- ・ 自分で売るのが苦手なため、思い切って販売が得意な人に任せることに。自分のためにビジネスをするのではなく、「（販売をお願いしている）この人を喜ばせるために」と思った瞬間から、どんどん次の仕事につながっている。



Emi's comment

見えてきたのは「**繋がり**」という言葉ですね。

ハプロDは、目的や目標を持つタイプではありません。「これを成功させる」といったゴールをあらかじめ持っているわけではありませんが、**結果として今につながっている**という人生観です。何がどうなって、今や未来につながるのかについては、あまり考えません。

目の前にあるのが小さなことでも、それが何につながるかは分からないという考え方なので、何かに対して「無駄だな」と感じにくいところがあります。

ハプロDは、**波乗り**。「来た波に乗っていると、気づけば思ってもみなかった場所にたどり着いている」という成功パターンがハプロDらしいですね。

■チーム②

共通点は、

- ・崖っぷちになると、乗り越えられる。
- ・ピンチになると「できる・できない」の見極めをしていて、「頑張ればできる」と思ったことについては努力で成果を上げた経験がある。
- ・「誰かのため」となると、自分のエンジンがかかり、物事が発展してうまくいきやすい。
- ・自分だけの目標・ゴールだと、途中で挫折したり、続けるのが難しかったりする。



Emi's comment

「崖っぷち」というキーワードが、ハプロDの両チームから出たのが面白いです。普段はあまり闘争心がないタイプなので、そこまでいかないとスイッチが入らないとも言えますね。

自分のためだと、本当にモチベーションが湧かないので、「この人のため」「全体のため」といった目的・目標の方が頑張れるし、踏ん張れるのがハプロDです。

共通点は、

- ・「周りに言われて成功だと気づく」こと。

出た意見は、

- ・ 学生時代、バレンタインで100人にお菓子を作って喜ばれた。
- ・ 人命救助。
- ・ 褒められると嬉しいと感じるけど、今となってはもっと上手くできるから、過去の成果物はあまり目を向けたくない。



Emi's comment

「これが成功」というのがないのが、ハプロMらしいですね。

以前、大手子供服メーカーにお勤めのハプロMさんとお話した際も、同じようなご意見が出ました。ご自身がディレクションした写真が、ロンドンやパリに大きく飾られても、「それはそれで、次のことを考えているから」と一切振り返っておられなくて（笑）周りから「すごいじゃん」と言われて、「ああ、そうなんだ」という受け止め方をするとところがあるんだなど。

また、過去の成果物を見たくないのも、**過去には全く目が向かない、未来を見続ける**ハプロMらしいですね。

縄文タイプは、**頭で考えなくても身体が動く**という傾向があります。人命救助がエピソードとして出てくるのも、**ハプニングに強い縄文タイプ**らしいなと思って聞いていました。

共通点は、

- ・あまり考えたことがないテーマ
- ・日々それなりに上手くいっているんじゃない？
- ・成功が何か分からない
- ・「上手くいった」があまりイメージできなかった

出たエピソードは、

- ・短大受験で落ちてしまった。「やばい」と思って、周りの人に助けてもらいながら3ヶ月必死に頑張っとうまくいった。
- ・人材派遣会社での仕事で、双方うまくマッチングしたのがうまくいった瞬間。
- ・海外との契約交渉の際、1年くらいかけて進めていた案件が、フランスの取引先から「無しになった」と突然言われた。ヤケになって、夜にゴミ箱を蹴っ飛ばして寝たら、次の日に案件が復活。「余計なことは考えるな、やることをやったら、あとは放っておけ。」の精神でうまくいった。

出た意見は、

- ・追い込まれないとやらない。追い込まれないと先延ばし。
- ・目の前のことに集中、何も考えない方が結局うまくいくのでは？
- ・必ずゴールがあるけど、プロセスが絶対楽しい。
- ・自分たちは前に出ず、戦略を立てて、策士のようにしめしめと喜んでいるタイプ。
- ・双方のメリットを考えている。
- ・相手の中に我々が入っとうまくいくと嬉しい。



Emi's comment

戦略、プロセスに注目するのがとてもハプロRらしいです。

「ゴールを教えてください」という質問は、ハプロRさんからよく出てくるワードです。ゴールは動かないものとして固定されたもので、そこに向かって「**どういうやり方で進めるか**」はハプロRの方がすごくこだわるところですし、好きなところでもあります。

推理小説を読むときに、「**犯人が誰か**」という結論を先に読むというハプロRのお子さんがいました。その上で最初から読み始めて、結論までのプロセスを何度も何度も読み返すそうです。

「推理小説って何回読んでも面白いの？」と聞いていましたけど、**とにかくプロセスが楽しい**ということでした。

ハプロNチーム

出た意見は、

- ・テーマを聞いた時「すごく難しい」と感じた。
- ・「ない」と思ったのが最初。
- ・完璧主義な性質が関係して、上手くいく設定が高いのかも。
- ・誰かにアドバイスした時に、相手が喜んでくれると「上手くいったな」と感じやすい。



Emi's comment

ハプロNらしいご意見ですね。

サポートといっても、ハプロDのサポートとは少しニュアンスが違います。**その人の実現したいものを一緒にやっていく**ような、アドバイス・コンサルに近いサポートですね。自分がちょっと力を添えたことによって、相手が喜ぶ、成功することに喜びを感じるので、**自分の成功＝相手の成功になりやすい**です。

スマイルピクチャーズの社員さん（ハプロN）に同じ質問をすると、その人の回答は「システム構築」とのことでした。情報が整理されておらず、共有もされていなかったところに、自分が入ることによって、かなりシステム化して見える化できたのが、うまくいったことというお話でした。

今回の研究テーマを考案してくださったのは、ハプロDの研究員の方。ハプロDメンバーは、扱いやすいテーマだったのかもしれないですね。ハプロMRNは、「それを考えるってどういうことなんだろう」という反応があったのも面白かったです。